

AMEBRIETO

N-ro **176**

町田エスペラント会
Esperanto-klubo de Maçida

~~~~~

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の中止及び一部変更

### 1 AMUZA KUNVENO

★6月20日(土)に予定していた AMUZA KUNVENO は中止します。

30周年記念事業として公開での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び参加者の安全と健康を考慮し、中止することになりました。

### 2 学習会

★毎週火曜日の学習会は、6月からスカイプを利用して、時間を短縮し行います。

10:00～10:30 輪読 “Amo kaj malamo”、第2週は、機関誌「エスペラント」を使って  
“Krucvorto”を解き“Novaĵoj Hokitaj de Okita”を読む。

★毎週土曜日の学習会は、3月からスカイプを利用して、時間を短縮行っています。

14:00～14:30 おしゃべり(babilado)

14:30～15:30 輪読(legado) “Faktoj kaj Fantazioj”

これまでの参加者: 明石、上農、木村、桐山、クーヴェ、鳥居、永木、早川、山本  
5月9日には、フランスから早朝にも拘わらず、マルティンさんが参加しました。

★月2回の学習会は、メールを利用して随時行っています。

緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ対策として「3密」を回避するため、リモート学習会を行っています。

在宅のまま参加できます。パソコンやスマートフォンに Skype のアプリをダウンロードして参加してください。カメラ機能がなくても、音声だけでも大丈夫。

勉強はちょっと・・・と躊躇している方も、毎週土曜日午後2時から30分間のおしゃべりだけでも参加してみませんか。近況などお知らせください。

2020年6月

## 「新しい活動様式」の模索

永木 正子

新型コロナウイルスの感染拡大で世界中の暮らしがすっかり変わってしまいました。

最初に新型コロナウイルスが確認された武漢市は当初、「ヒトからヒトへの感染は確認されていない」と説明しました。そして日本でも、初の感染者が1月に出たころは、「通常の生活をしている人が感染する可能性は低い」と言われていました。それが、今では、人との接触を避けるため、不要不急の外出は避け、家にいることを要請されています。外国や国内の移動はもちろん、近くの商店街への外出もままならなくなりました。

WHOの対応が非難されていますが、日本政府の対応についても検証が必要です。466億円の予算が計上された「アベノマスク」はいまだに(6月1日現在)届いていません。マスクを受け取って喜んでいる人もいますが、これだけのお金をかけるなら他のことに使ってほしかったと思っている人は大勢いるはずです。言いたいことはたくさんありますが、ストレスが増すだけなのでやめておきます。

感染者の多くは軽症で済んでいると言われていますが、未知の感染症に治療薬はなく、スポーツジムに通っているような元気な人でも、このウイルスにかかって死んでいます。志村けんや岡江久美子死亡の報道は、死者数が何人、という数字では伝わらない怖さを感じさせました。そんな中で医療現場や社会インフラで働く人たちには心から感謝の気持ちを伝えたいです。間違っても差別するようなことが絶対にあってははいけません。そうした人たちのためにも普通の市民はここはじっと耐えて、一人ひとりが、感染を拡大させないように気を付けるしかありません。

山中伸弥教授は、ウイルスとの闘いをマラソンに例えています。効果的なワクチンや治療薬の開発には時間がかかるようなので長期戦になることは間違いないでしょう。厚生労働省は、長丁場に備え、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を公表しました。3つの密(密集、密閉、密接)を避けるため、町田エスペラント会でも6月の「AMUZA KUVENO」は中止になり、学習会もスカイプを使って行っています。今後予定している合宿やザメンホフ祭も、新しい生活様式に示されている実践例を考慮すると、これまでと違う、なにか新しい方法を考える必要があるかもしれません。町田だけでなく、多くのエスペラント会が同じ状況にあると思われます。八ヶ岳エスペラント館の利用については今後 JEI から出される方針を待つとして、中止以外に方法がないのか、皆で知恵を出し合ひましょう。

★コロナ禍の中でみなさんはどのように過ごしているのでしょうか。

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の後の私の生活

明石 芙美子

幸いなことに緊急事態宣言後、老人2人(82歳、87歳)の生活なので、日常生活用品は生協で殆ど間に合い、買い物は週1回くらいで済んだこと、趣味の

集まり（エスペラント、コーラス、歩こう会等）は中止になったけれど、季節の変わり目であったので、家事が忙しく、外出ができなかったことでのストレスは感じませんでした。それに毎朝行っているすぐ近くの芹ヶ谷公園での6時からの太極拳、ラジオ体操、その後の公園の中のウォーキング、今年は、割合気候も穏やかだったので、花が、梅、桜、こぶし、ツバキ、ハナミズキ、シャクナゲ、山吹、次々と咲いて、それは見事だったし、小鳥たちも、鶯、小綬鶏、雲雀、鴨、セキレイ等々、にぎやかにさえずって、今は、もみじやケヤキ等、緑の色がどんどん濃くなって、涼しげな木陰を作り始めています。そういうわけでいまのところ、生活は今までとあまり変わっていません。ただ、年を取るにしたがってもの忘れがひどくなり、心配して見舞いのお手紙をくださったフランスの友達に返事を書くのに5日もかかってしまいました。特にエスペラント語についてはなかなか出てこないで、家事の時間が終わった10時から12時までは、火曜日クラスで読んでいる“Amo kaj malamo” Aŭtoro Julian Modest, や “La Revuo Orienta”4月号、5月号等をいつもより丁寧に読んでいます。その他の時間は、庭の草取り、衣替えのための洗濯、いろいろ家事に追われている毎日です。

### 新型コロナの置き土産になるか…？

鳥居 房子

この2・3か月で世の中は様変わりしてしまいました。

今、私達高齢者に課せられたミッションは「元気である事」。と言うわけで、巣籠状態の中での体調管理をどうするかを考えました。

毎日、10時半に目覚まし時計の合図で、現在休会中のストレッチ体操教室でしていた動作や、テレビで見た筋トレの動きを混ぜこぜにして体を動かしています。さらに、ステッパーをテレビの前に据えて、タイマーをセットし、扇風機をつけ、ストックを持って、録画してある百名山や世界の山の映像を見ながらステップし、30分ほど山道を歩いているつもりになっています。ストレッチと合わせて小一時間、結構汗をかきます。シャワーでさっぱりし、そうこうしているうちに昼ご飯、という生活をしています。平常になってもこの程度の運動を続けられれば、コロナ禍のせめてものプラスの置き土産になりそうですが…。時々「続いている？」と声をかけて下さい。

### 私の自粛生活

上農 百合子

最近、だいぶ、少なくなってしまったが、近くに藪のような林がある。もっと近くには3,4本の梅の木が立っている斜面がある。そこから野鳥の鳴き声が毎朝聞こえてくる。その鳴き声で目覚めるのが日課となっている。外出ができない日々、生活は静かに過ぎる。朝は野鳥のさえずりで始まる。シジュウカラやウグ

イスなどのさえずに心癒されていた。そんななか、やかましい鳴き声が入ってきて驚かされる。その声から調べてみると声の持ち主はガビチョウらしい。それは特定外来生物法に指定されている。そのうえ、日本の侵略的外来種ワースト 100 選定種になっている。私はその七色の美しい鳴き声を持つというガビチョウに騙されていたのだ。6 月も近いのにウグイスの鳴き声は聞こえないはずだからだ(それにウグイスはもっと優しくさえする)。シジュウカラのさえずりは本物だ。なぜなら庭にそのかわいらしい 2 羽が姿を見せてくれる。

Ni pasigu nunan malliberan tempon imagante ĝojajn aferojn !

Manjo

Por bloki disvastiĝon de la nov-kronviruso, japana registaro apelaciis al la popoloj, ke ili laŭeble ne eliru, kaj malmultigu kontakton kun homoj escepte de urĝaj kaj absolute necesaj okazoj. Tial nun estas multaj aferoj, kiujn ni ne povas fari eĉ se ni volas.

Tada Mahiro, ilustristino, bildlibroverkistino, en Twitter skribis “Kion mi volas fari se la mondo revenas al normalo” kun ilustraĵoj, kaj ĝi estis tre bone ricevita. (2020.4.22)<https://magmix.jp/photo/26751#photo1>

11 aferoj, kiujn homoj volas fari post la fino de la epidemio. —Homoj, kiuj pasigas la nunan tempon kun “natura feliĉo”-

コロナが終息したらしたい 11 のこと —「当たり前幸せ」を楽しみに今を過ごす人々

- 1 Mi volas kunveni kaj trinki kun geamikoj unuloke. —La amuzo probable plimultiĝos !
- 2 Mi volas iri al mia hejmloko. —Ĉiuj volas vidi sian familion.
- 3 Mi volas iri al loka festivalo. —Neniu avertos maldecan agon eĉ manĝi promenante.
- 4 Mi volas iri al super publika banejo kaj saŭno. —Oni ne timas nudajn rilatojn tie.
- 5 Mi volas legi en kafejo. —Ĉiuj volas malstreĉiĝi en sia plej ŝatata loko.
- 6 Mi volas vojaĝi. —Kontentigu deziron !
- 7 Gimnazio, jogo, danco, teniso, baleto. —Feliĉo estas fari hobiajn lecionojn.
- 8 Mi ne kunvenis ĉe la kursfina ceremonio, do mi volas kunveni ankoraŭfoje. —Havu bonan memoron !
- 9 Mi volas iri al temoparko. —Estas eĉ feliĉa, ke ni atendas en longa vico.
- 10 Mi volas ludi klubajn agadojn. —Faru vian plezuron, kiel vi deziras !
- 11 Mi volas pasigi normalan vivon. — labori trankvile, butikumi kun amikoj, renkonti homojn, kiujn mi amas, fari multajn interesajn aferojn.

皆さんがしたいことを次号 AMEBRIETO に投稿しましょう !

Ĉu vi ricevis jenan demandon de konatoj? “Ĉu Esperanto enhavas kulturon?” Mi ne povis respondi tiam. Post tio mi pensadas, kiel mi trovos konvinkan klarigon al tiuj, kiuj vere ne konas Esperanton.

Antaŭ la UK.Seulo mi refoje eklernis Esperanton por partopreni en ĝi, vizitante diversajn seminariojn kaj renkontiĝojn. Intertempe mi havis ŝancon legi divesajn librojn. Kiam mi legis la libron ‘Historio de la lingvo Esperanto’ de Edmond Privat, kiun sinjoroj Oosima Yosio kaj Kobayasi Tukasa tradukis en la japana lingvo, mi rimarkis, ke Zamenhof jam antaŭvidis tiun demandon de homoj, kiuj ankoraŭ ne konsideras pri internacia lingvo, kaj kiuj ne imagis krei ĝin. Pro tio Zamenhof tradukis famajn verkaĵojn en Esperanto por informi pri utileco kaj neceseco de internacia lingvo al publiko.

La libro ‘Tamen ĝi moviĝas!’ donis al mi bonan okazon scii pri la ideo kaj suferoj de Zamenhof kaj la historio de Esperanto. Inter eseoj mi trovis la unuajn kaj aktivajn, fervorajn esperantistojn, tamen preskaŭ ne konatajn al mi.

En la lasta aŭtuno mi gajnis laboron en biblioteko kaj mi havis okazon legi librojn verkitajn de unuaj esperantistoj. Samtempe mi legis librojn nuntempajn. Kaj mi konstatis, ke oni pli bonigis esprimanieron fare de verkistoj dum 133 jaroj post la publikigo de Esperanto. Zamenhof tre grave penis konigi utilecon kaj pruvi la signifon de Esperanto al publiko. Kaj sekvis Edmond Privat por praktiki lian ideon. Laŭ la penso de Edmond Privat Esperanta literaturo disvolviĝos per verkaĵoj skribitaj en Esperanto.

Nunaj verkistoj tre bone utiligas gramatikajn karakterojn miaopinie. Nun mi legas librojn, freŝe kaj malnove eldonitajn. Do, kulturo de Esperanto kreskis, kreskas kaj kreskados per klopodoj de esperantistoj, mi pensas kaj esperas.

Nu, mi respondu la demandon kun kuraĝo.

(要約) エスペラントには文化というものがあるのか、という質問を受けることがある。私は答えることができなかった。様々なエスペラント関係の本を読んでいくうちにザメンホフ自身がそのような質問を受けていたことがわかった。ザメンホフはその質問に答えるためにその頃に出版された中から多くの人に読まれていた本を選んでエスペラントに訳した、という。ザメンホフの後に続いた人たちの考えや努力を知ることからその質問に答えることができるようになったかもしれない。

★新型コロナの自粛中に放射線工学の動画をたくさんつくりました。一部の動画で  
す。他は次号にゆずります。 HAYAKAWA Yoshinori

多現象系と論理数学・連鎖反応

[https://www.youtube.com/watch?v=XtehIPUv9\\_E](https://www.youtube.com/watch?v=XtehIPUv9_E)

<http://ccmg.cc.toin.ac.jp/tech/bmed/ft28/LogcsPhenomnjp.pdf>

放射線とエネルギーの将来及び銀河宇宙線と小氷河期: 20億人死亡?

<https://www.youtube.com/watch?v=VjPnUDho4OA>

<http://ccmg.cc.toin.ac.jp/tech/bmed/ft28/RadiationIntroJP.pdf>

放射線の概要: 電気力・核力・核分裂・連鎖反応・核融合・福島事故・地震の原因は放射能・大陸移動の原因・他の恒星への移住・放射線安全策

<https://www.youtube.com/watch?v=JjTAX24zPaY>

★久場さんの追悼文を掲載した AMEBRIETO 175 号を受け取られたご家族からお礼のはがきが届きました。

会報を送っていただきありがとうございました。

長い間、皆さまの仲間に俊男さんを加えていただき感謝いたします。

俊男さんは毎朝エスペラント語の勉強をしていました。エスペラント語を学ぶこと、皆さまとの交わりにより、豊かな人生を送ることができました。

天国で再会した際には、また、久場俊男をよろしく願います。

娘 洋子

★町田エスペラント会 30 周年記念誌ができ上がりました。

感想などお寄せください。(編集担当)

## 編集後記

世界や日本の情勢、気候変動(地球寒冷化)、新型コロナ、新型インフルエンザなど将来は不透明。言語だけでなく広く知識を求め、対策と希望をもって生きましよう。早川吉則

[参考まで]<https://www.youtube.com/watch?v=pK1W7Vvtin8>

次号 177 号は 8 月発行予定。原稿は永木さん宛に送付してください。